

まち角通信

(第16号)

発行 運営体事務所
電話 55-4808

賑やかな敬老会

九月二十九日(火)、花葉館でまちづくり運営体主催の第二回敬老会が行われました。

仙北市議会の高橋豪議員から温かいご挨拶を頂き、また、先輩の皆さんに何か役立つことをと、角館消防署の武藤氏に、「日常でおこりうる病気をやけが等の救急処置」についての講話をお願いしました。



出席者の皆様からは「大変参考になった」とのお声もいただきました。

そのあとは美味しいお弁当を楽しみながら、昨年も好演で沸いた「かくのだて桜角会」を中心とする皆さんの歌と踊り・民謡演奏などを披露して盛りあがる中、「角館の年番長」こと下田弘さんの国定忠治顔負けの刀を用いた踊りにはやんやのかわさいでした。手踊りの飛び入りも恒例化し、有意義な一日でした。



普段会話することの少ない他町内の皆さんとの交流の場でもあります。ぜひ来年も今年以上の参加をお待ちしております。

高齢者世帯等の除雪事業について

角館まちづくり地域運営体では**除雪事業を実施しません。**

仙北市では昨年同様「仙北市高齢者世帯等除雪支援事業」という除雪支援を行いますので、そちらの申し込み書(広報せんぼく11月1日号に折込されています)に記入して除雪支援をお願いして下さい。(詳しくは仙北市役所西木庁舎内電話**43-2281**の長寿支援課へ)

角館まちづくり地域運営体では、これにともなう申し込み手続きやめんどろなことがあればその応援を受け付けます。運営体事務所で直接相談されるか、**55-4808**にお電話下さい。

「和モダン」 正月リース作り

12月15日(火) 13:30~14:30

今年のお正月の玄関飾りを手作りしてみませんか?

「和モダン」で素敵なリースを飾れば、きっといい年を迎えられる予感がします!

会場 角館まちづくり地域運営体 定員 10組(先着順)

持ち物 エプロン・軍手・あれば花ばさみ

要事前申込 締め切り 12月11日(金)

申込・問い合わせ 角館まちづくり地域運営体 ☎55-4808

募集

「さくらッコ」バザー

10月30日~31日にすつかり恒例になった、子育て支援施設「さくらッコ」のバザーが運営体を会場に開かれました。今回は秋冬編ということで、これから寒くなるのに備え、アウターや厚手の洋服を求めて、たくさんの方においで頂き大盛況となりました!



乳幼児期は毎年のようにサイズが変わっていくのに、冬物は正規で買うと少しお値段が張ります。ここでは利用者や地域の皆様からの寄付で集まった洋服ばかり。数回しか着ていな

い、着るタイミングが無かったと新品同様の物もあり、それが袋詰め放題二百円です。2、3袋と買われる方も多く見られました。大量生産、消費の時代に簡単に捨てるのではなく、このように物を大切に扱い、繋げていくということが大事なんだとお母さん達、子供達の笑顔を見て、改めて実感しました。また、洋服の他に同様にして集められたおもちや屋雑貨、お母さん達手作りスタイ・ヘアゴム・フェルトおもちや、食べ物部門ではおやきやスタップの家で採れた野菜も売られました。売り上げはさくらッコで使用するおもちやに還元されます。年に2回開催される「さくらッコバザー」。どなたでもおいで頂けますので、皆様是非チェックして見てください。

恒例となった灯籠流し

8月16日(日)、晴天に恵まれた灯籠流しの当日。午後6時30分から角館仏教会による読経が行われ、遺族のご焼香、白岩ささら保存会のささら舞で供養を行いました。7時には次々と打ち上げられる花火の中、遺族の皆さんにより百個の灯籠が川辺に運ばれ、運営体の役員により川に流されま



した。ご遺族の皆様は、川岸に立って、花火と並んで流れる灯籠との饗宴に、亡くなられた方の冥福をお祈りしていました。今年運営体では、ご遺族の皆様にも、直接川に灯籠を流してもらおう計画でしたが、

古城山 癒しの里山へ

角館まちづくり地域運営体では、今号の掲載事業の他に、長期的な課題について検討しています。それは古城山の整備です。古城山は、古来より武家町角館のシンボルであり、かつ町民の心の支えとした思い出の場所でした。ところが今では、以前からある桜も、その年によつて咲いたり咲かなかつたりで荒れた状態、とても公園とはいえない姿です。

運営体のアンケートの中に、これらに関するご意見



角館仏教会による読経の様子

前日までの雨で水量が多く、残念ながら足場を組むことが出来ませんでした。なお、今回クイックテント二張りを用意しました。利用ご希望の方は、運営体事務所までお申し込みください。

防犯ステッカーの配布について

仙北地域連合会では、悪質な詐欺防止に「防犯ステッカー」を作成しました。12月上旬に皆様の自宅にお届けしますので、ご利用等にご貼布してください。

ご要望が多数ありました。この状態を町民の皆様方と共に昔日の姿に戻し、さらに観光にも資するものになりたいというのが切なる願いです。

その方法や財源など難しい問題が山積しておりますが、この度関係機関との協議をする運びとなりました。ご指導、ご協力を頂きながら五年ほどの期間を目途に、地域の皆様方よりのご意見・ご要望を参考に一歩一歩進めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

角館のお祭りを今後どうする？

今年の九月、角館のお祭りは悲しい記憶となつて幕を下ろしました。

二日目の真夜中、誰もが知るあの藤木伝四郎商店の浩一社長が曳山に挟まれるという痛ましい事故が起きてしまいました。家族思いの仕事熱心な方でした。お祭りを愛するものにとつて、また角館地域の住民にとつてこれほど残念なことはありません。単に事故防止の対策を考えるだけでは足りない、今こそお祭りのあり方全体について根本的に考える時だと思つた人は多いのではないのでしょうか。時間がかかってもよい、各町内の人々、曳山関係者、張番、保存会。角館のあらゆる知恵を振り絞つてお祭りを健全な姿にもどしたいものです。

イルミネーション

期間 12月13日～2月14日(予定)

昨年度、横町商店街の活性化として実施した、青色LEDのイルミネーション事業を今年も引き続き行います。アンケートの結果を踏まえ、今年度は多少色合いを増やし、点灯開始時期を少し早め、期間も長くする予定です。又、新しく駅前タクシ乗り場の建物にも設置しますので、是非ご覧下さい。



昨年の横町イルミネーション